

■神谷伝兵衛 実業家。浅草に(神谷パー), 茨城県牛久にワイン醸造所(シャトーカミヤ)創設, 日本の洋酒文化を拓いた。

かみやでんべえ

松下村塾・1856= 三河国松木島村で, 名主の神谷兵助の六男に生まれる。母はイシ。幼名は松太郎。

神谷家の先祖は武士で, 江戸時代初めからは代々名主をつとめた家柄であったが, 父が多趣味で家業を顧みることがなかったため, 没落し,

桜田門外変・1860= 4歳:

遣欧使節・1861= 5歳: 幡豆郡高川原村のの母の実家に寄食して, 算術・習字などを修め,

禁門の変・1864= 8歳: 高川原村の桶職人のもとで, 桶製造の見習。

薩摩藩士密航1865= 9歳: 自宅に帰り, 村の住職について習字を修める。姉の婚家先の尾張国知多の(品川屋)に住込み商業見習。

薩長同盟・1866=10歳: 自宅に帰り家事を助ける。

大政奉還・1867=11歳: 近郷の村々に雑貨の行商を行なう。

明治維新・1868=12歳: 父から資本金を借受けて, 綿の実やぬかを買出しで行商を行ない, 若干の利益をあげる。

戊辰戦争終・1869=13歳: 名古屋におもむき米穀や綿の取引を行なう。

初の日刊新聞1870=14歳: 伊勢におもむき米穀や綿の取引を行なう。

廃藩置県・1871=15歳: 引き続き, 大阪におもむき米穀や綿の取引を行なう。

学問のすすめ1872=16歳:

明治6年政変 1873=17歳: 兄の勧めもあって, 横浜外国人居留地でフランス人経営の(フレッセ商会)酒類醸造場で働くうち, 病気で重態になった際, 主人から葡萄酒を勧められて体調を回復, その滋養を知る。

佐賀の乱・1874=18歳: 父が死去。家督を相続して, 伝兵衛と改名。(フレッセ商会)を退職し,

初の民間工場1875=19歳: 東京深川の米穀商を経て, 麻布の酒商で酒の引売りを始め,

寸暇を惜しんで蓄えた財産を元手に,

1880=24歳: *東京浅草区花川戸で, (東京の量り売りの元祖ともいわれる)酒の一杯売の(みかはや銘酒店)を開業。

明治14年政変1881=25歳: 輸入ぶどう酒を原料に, 蜂蜜や漢方薬を加えた甘味ぶどう酒の販売をはじめると, 評判となり,

新体詩抄・1882=26歳: 結婚。続いて, アルコールを原料として速成ブランデーを製造し発売。

岩倉具視没・1883=27歳: 妻, 長男とも死去し, 再婚。琉球産泡盛酒の発売を行なう。

内閣発足・1885=29歳: 日本運輸会社設置に尽力。輸入品ぶどう酒に“蜂印”の商標登録,

帝国大学始・1886=30歳: 高崎修助を主筆に醸造雑誌を創刊。*甘味ぶどう酒に, 父の雅号を由来し豊かな香りが隠れ忍んでいることを示す“香竄(こうざん)”印の商標登録をし, いわゆる“ハチブドー酒”として大人気となる。

初の対等条約1888=32歳: 母が死去。

帝国憲法発布1889=33歳:

帝国議会始・1890=34歳: 本所東両国の料亭で, 関東酒造組合1府17県大会を開き, 酒造税法改正のことを議する。

大津事件・1891=35歳: 子供ができず, 兄圭介の長女誠子を養女に迎える。名古屋で開催された全国酒造組合連合大会に出席, 輸入アルコールに関する意見を述べ, 政府および貴衆両院に陳情することを決定させて, その委員になる。

大本教・1892=36歳: 東京浅草区花川戸に新しく土地を購入, 住宅や営業所の改築を行なう。

郡司千島探検1893=37歳: 本所に神谷酒造第2工場を設置。東京酒造組合頭取に選ばれる。輸入ブランデーを日本人の口に合うように改良した“電気ブラン”を創出して発売する一方, 念願の葡萄酒づくりを実現させるべく,

日清戦争始・1894=38歳: 誠子の婿に迎えた小林伝蔵を養嗣子とし, 技術習得のために, フランスに留学させる。

日清戦争終・1895=39歳: 宇都宮三郎とともに東京三田に酒類醸造試験所を設け, 「糖蜜原料酒製造法」を発明し特許を受ける。

白馬会・1896=40歳: 新潟県長岡に日本石油精製株式会社を創設。東京向島に別荘を建築。

八幡製鉄始・1897=41歳: 政府に混和酒税下げ戻の請願。伝蔵が帰国するや, 苗木6000本を輸入して東京郊外の大久保村に試植, 苗の順調な生育に自信を持ち, 茨城県牛久の原野160haを購入して開墾し,

子規句歌革新1898=42歳: 東京日本橋に神谷汽船合資会社を設置し運輸業も開始。ぶどう苗を移植して, ぶどう園を開園。

Bushidou・1899=43歳: 人見寧とともに日本酒精製造株式会社を設立。北海道旭川にアルコール製造工場を設ける。

田中正造直訴1901=45歳: 東京府会議員に当選するも, 健康上の理由から辞任。以後, {シャトーカミヤ}が全国的に人気になったことから, *醸造場(シャトーカミヤ)を建設し, 本格的な生産を開始。神谷酒造合資会社設立, イギリス永晶宮で開催された万国衛生食料品博覧会に「牛久葡萄酒」を出品し名誉金賞を受取る。

日露戦争始・1904=48歳: 旭川工場に養豚の副業をはじめる。パリで開催のチュイル博覧会にも「牛久葡萄酒」を出品, 金賞牌。

日露戦争終・1905=49歳: 富士石油会社を買収し日本石油精製会社と合併。以後, {シャトーカミヤ}には政府要人が次々来訪, 莫大な資産をバックに, 多くの会社設立に関与し, 被災者救済などに尽くしながら,

満鉄発足・1906=50歳: 「石油蒸留装置」の専売特許および実用新案。石油罐および石油箱を商標登録。

韓国反日暴動1907=51歳: 九州炭鉱汽船株式会社を設立し相談役。東京勲業博覧会でも「牛久葡萄酒」が1等金賞牌。

アヲヲ創刊・1908=52歳: 糖化原料として小麦・燕麦麴の使用を発明し, 特許を受ける。

伊藤博文暗殺1909=53歳: 旭製薬会社を設立し社長となる。アルコールの新原料を発見し,

韓国併合・1910=54歳: 欧米視察。九州炭鉱汽船会社の取締役となる。北海道炭鉱会社改革に尽力。

大逆事件判決1911=55歳: 旭川工場で, 99度以上の無水アルコールを製造, 国産アルコールの品質向上に貢献し, 皇太子が臨幸。

明治天皇没・1912=56歳: 兄が死去。富士革布, 輸出食品, 日新印刷と次々株式会社設立に尽力。とくに三河鉄道設立に当たっては, 郷里出身の成功者として尽力。花川戸町の店を改装し, 日本初のモダンな洋風パー(神谷パー)を開業。

大正政変・1913=57歳: 台湾視察。向島別荘の洋館が竣工。

第一次大戦始1914=58歳: 富士革布株式会社の社長に推され, 以後, 改革を行なう。三河鉄道が開通。伝蔵が再渡仏。

21ヶ条要求・1915=59歳: 神谷貿易株式会社を設立。明治神宮奉賛会評議員に推薦され, 大札記念章を授与される。

民本主義・1916=60歳: 酒造税法改正の運動を行う, 旭製薬株式会社を整理。三河鉄道が経営危機に陥り, 乞われて3代目の社長に就任すると, 私財を投入して再建を果たす。

ロシア革命・1917=61歳: 熱海の旅館で発病し入院。全快退院後は湯ヶ島で静養。最後の道楽として, 東京湾に面する松林が広がる避暑地の千葉県稲毛海岸で, 大別荘建築に着工し,

本格政党内閣1918=62歳: 東洋耐火煉瓦株式会社を設立し取締役。完成。葡萄の古木を用いた和館は失われたが, 洋館は現存し, 初期の鉄筋コンクリート建築として全国的に貴重な建築物で, 国の登録有形文化財に指定され, {千葉県市民ギャラリー・いなげ}として開放されている。

ベルサイユ条約1919=63歳: 帝室博物館に什宝668点を献納し,

大暴落・1920=64歳: *神谷酒造合資会社と大日本旭酒造株式会社を合併して神谷酒造株式会社とし, 神谷醸造株式会社を株式会社神谷本店と改称, なお新会社設立に関与し, 台風災害や米価高騰による窮民を救済するなどして,

原敬首相暗殺1921=65歳: 北海道酒精株式会社を設立。

水平社結成・1922=66歳: 没した。

伝蔵が2代目伝兵衛を襲名。